

# 万博への暴走ストップ 府民のくらしを守る府政へ

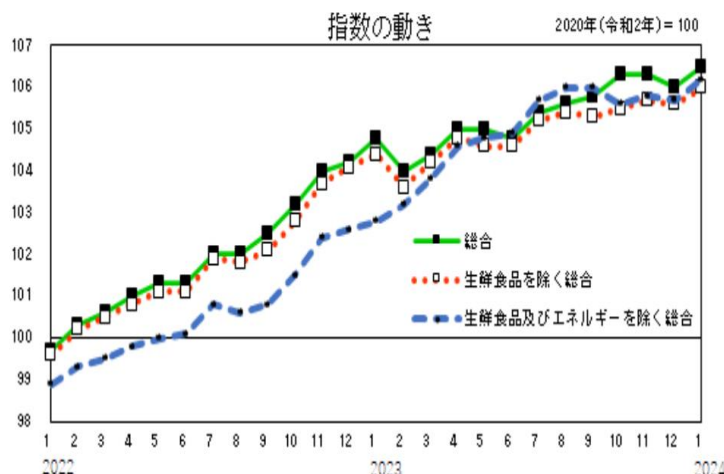
---

大阪府議会議員 石川たえ  
2024年2月

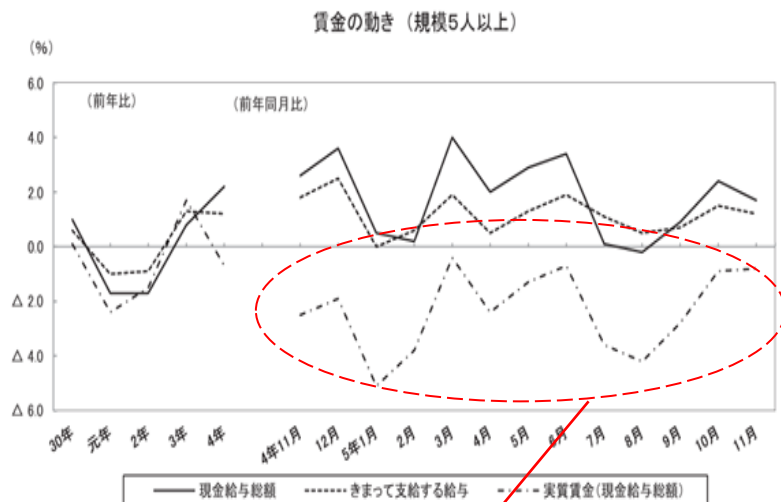


# 物価高騰で暮らしは深刻

- 消費者物価指数(大阪市1月)  
24か月連続上昇
- 前月比+0.5%
- 前年同月比+1.7%



- 実質賃金は、  
前年同月比 **-0.8%**  
(大阪府昨年11月)  
16か月連続マイナス



1年前を下回り続けている

# 物価高騰で営業も困難に

- 2023年府内倒産1080件
- 近畿で2206件 前年比35.3%増
- 人手不足や物価高騰で中小・零細企業倒産増

図1

	売上DI値		利益DI値	
	2023年上期	2023年下期	2023年上期	2023年下期
従業者規模 6人以上	▲18.0	9.7	▲28.9	▲7.3
従業者規模 5人以下	▲42.2	▲42.5	▲53.3	▲52.1
差	24.2ポイント	52.2ポイント	24.4ポイント	44.8ポイント

23年下期の「利益DI値」は6人以上が▲7.3に対して5人以下が▲52.1（図1）。5人以下は、経営困難な状況から脱しきれずにいます。（商工会新聞より）

「差」は、「従業者規模6人以上」と「従業者規模5人以下」のDI値の開きを示しています。

# 新年度予算の特徴――万博への暴走――

## 【各部局で「万博関連予算」計上】

- 万博推進局: 2023年、約79億円が341億9000万円と  
**4倍強**に！
- 万博推進局以外の部局も万博を名目にして、合計約100億円以上計上
- 関西全体を『仮想的なパビリオン』に見立て、「〇〇万博」「〇〇EXPO」など多数

各部局とも、「機運醸成」をかかげ  
競って万博関連予算を計上しているのが特徴

# 2024年度当初予算収支見込

- ◆2023年度財政調整基金残高見込み: **2262**億円  
毎年、当初で「取り崩し額は〇〇」といいながら、年度末には、積み増し、財政調整基金は増え続けている

コロナ禍でも  
物価高騰でも



**15年連続黒字!**  
(2022年度まで)

- ◆減債基金復元は2023年度で完了

# 暴走する万博

## 会場建設費また上振れ

◆2020年に1250億円が  
1850億円に

◆今回、1850億円が

**2350**億円に(# °Д°)

毎回「これ以上の上振れの  
のないように」と言いなが  
ら、上がり続けている。

◆2/3は税金から負担する  
府市負担は**783**億円

## 「万博より能登復興を」

「大阪府民として何度も言  
います。能登復興の妨げに  
なる万博は即刻中止すべき  
です」という多くの声



「万博と復興支援が二者択  
一の関係ではない。なんで  
万博と復興支援が二者択一  
なのか、よくわからない」  
と知事 (# °Д°)

# 暴走する万博

万博費用  
府市費用負担は  
最大約1377億円

## 1. 大阪・関西万博に要する府市の費用について

更新ページ

(単位:億円)

	今後も含めた大阪府・市の 費用総額の見通し※1	これまでの大阪府・市の予算への計上状況		
		～令和6年度 当初予算要求※2		計
		大阪府	大阪市	
(1) 大阪府・市による会場建設費 (万博推進局)	<b>最大約783億円</b> (最大2350億円を国、大阪府・市、経済界で1/3ずつ負担)	305.9	305.9	611.8
(2) 夢洲地区埋立工事にかかる 一般会計負担 (万博推進局)	約21.4億円 (万博会場整備のために急ぎ施工した埋立工事)	10.7	10.7	21.4
(3) 大阪メトロ中央線輸送力増強等 (万博推進局)	約47.0億円 (一般交通への働きかけTDM含む)	17.6	17.6	35.2
(4) 大阪ヘルスケアパビリオンの建設等 (万博推進局)	約118.6億円 (再生医療発信事業含む。別途、民間企業からの協賛金あり。)	54.1	54.1	108.2
(5) 参加促進 (万博推進局)	約40.4億円 (ボランティアの受入準備・活動拠点の整備、自治体催事等)	6.2	6.2	12.4
(6) 機運醸成等 (万博推進局)	約39.2億円 (大規模イベント、主要エリアでのシティドレッシング、情報発信等)	10.5	11.9	22.4
(7) 誘致に要した費用 (万博推進局)	約4.2億円 (別途、経済界の負担あり。)	2.3	1.8	4.2
(8) (1)～(7)以外の費用 (他部局)	約58.9億円+約265.0億円+今後の費用 (前回の金額) + (令和6年度当初予算要求(債務負担行為分 等含む))	61.2	181.1	242.3
(1)～(8)計	<b>最大約1,112.7億円+約265.0億円</b> (前回の金額) + (令和6年度当初予算要求(債務負担行為分 等含む)) <b>=最大約1,377.7億円 + 今後の費用</b>	468.5	589.3	1,057.8

※1 (1)～(7)は現時点で見込まれる今後の費用を含む。

※2 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

3 (更新)

# 暴走する万博

昨年比4倍になった  
万博予算内訳

## 1. 2024年度府当初予算額（財務部長内示額）

大阪市への負担金 34,190,805千円 [※参考 局予算額 68,798,696千円]

【内訳】	2023当初①	2024当初②
■ 会場整備に関すること	4,701,500	26,965,500
■ 交通アクセスに関すること (大阪メトロ中央線輸送力増強、一般交通への働きかけTDM)	620,000	645,500
■ 大阪ヘルスケアパビリオンに関すること (大阪パビリオンの出展に向けた準備、再生医療技術の展示制作・設置工事等)	1,141,287	4,008,711
■ 機運醸成に関すること (PR重点期を中心としたイベント等の実施、地元市町村・企業と連携したPR取組み、若年層への発信強化等)	195,000	405,000
■ 参加促進に関すること (自治体催事参加に向けた企画検討・準備、ボランティアの募集・研修・活動準備等)	108,341	512,034
■ 賓客の受け入れに関すること (国内外から来訪する賓客に対する受け入れ体制の整備)	-	53,009
■ 事務費・人件費	1,196,115	1,601,051
合計	7,962,243	34,190,805

「会場周辺インフラ整備・会場アクセス向上などのインフラ整備は行政目的のために実施。万博のためのものではない」





## 【会場建設補助金】

# 暴走する万博

約269.6億円/2350億円

### 会場整備の概要

#### (博覧会協会による会場建設)

- ・2022年10月から、協会において会場基盤整備工事（土木工事）を実施し、土地造成などのインフラ整備は概ね完了
- ・大屋根（リング）は、2023年6月から組み立てが始まっており、現在、約5割の進捗
- ・静けさの森は2023年12月から植栽工事を開始
- ・主要施設についても小催事場、大催事場、迎賓館、テーマ館8館が着工済み

#### (政府・自治体・民間によるパビリオン建設)

- ・日本館、ウーマンズパビリオン、大阪ヘルスケアパビリオン、関西広域連合パビリオンは着工済み
- ・民間パビリオンは13館中10館で着工済み

写真①  
万博会場の建設状況



フューチャーライフパーク  
(モビリティエクスペリエンス、  
ベストプラクティスエリア等)

ギャラリー

2023年12月13日撮影

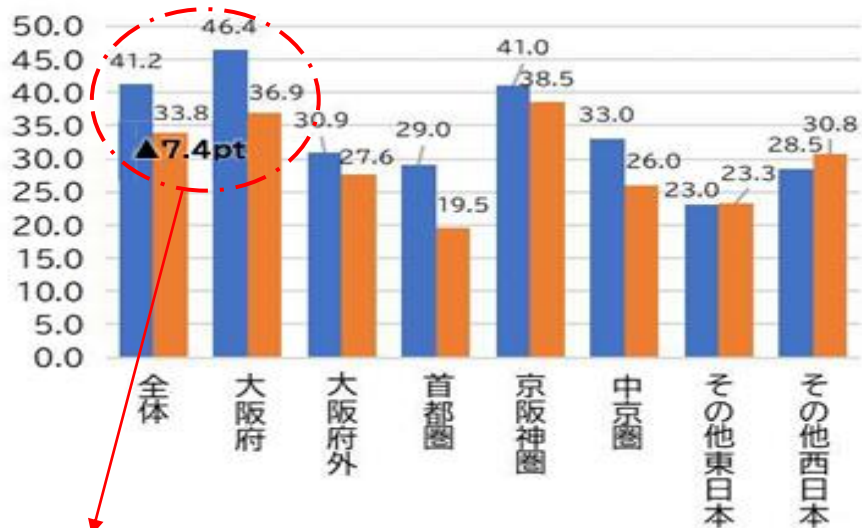
# 暴走する万博【機運醸成】 約4億円

来場者目標  
2820万人  
前売り券販売数  
まだ約42万枚

## 【大阪・関西万博に関するアンケート調査】

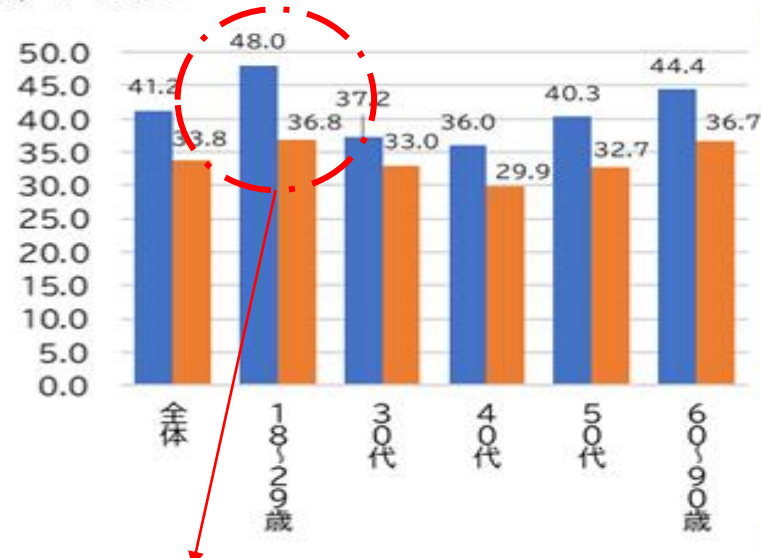
### (2) 来場意向度

#### ①地域別



全体：-7, 4ポイント  
2022年と2023年比較時：-9, 5ポイント  
来場意向は年々下がり続けている

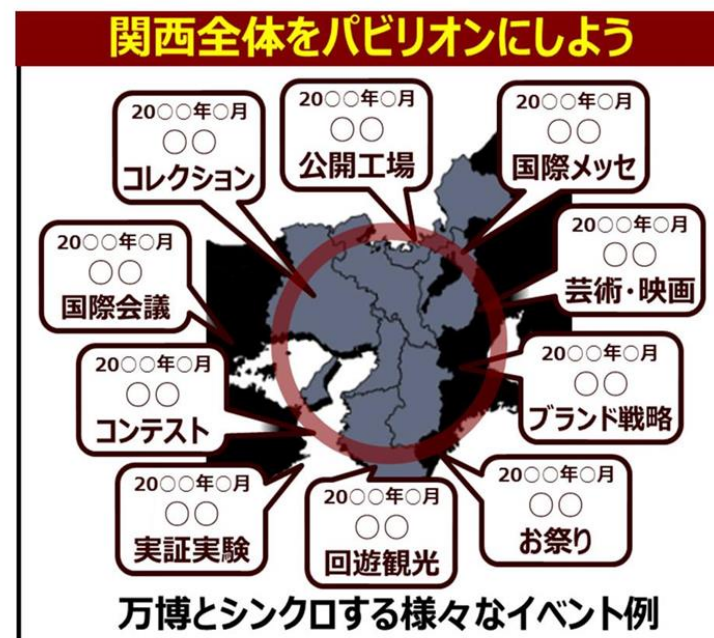
#### ②年代別



若い世代の関心がどんどん落ち込んでいる

# 暴走する万博 【3兆円の経済効果!?!】

- 「関西全体を仮想的なパビリオンに見立て」た拡張型万博!?
- 来場者見込み2820万人  
広域関西エリア:1560万人  
関西以外の国内:910万人  
海外:350万人と仮定
- 消費支出1.2兆円
- 生産誘発:3.4兆円(前回は2,8兆円)
- 粗付加価値誘発:1.9兆円
- 雇用者所得誘発額:1.4兆円



資料) 近畿経済産業局 NEXT関西企画室  
360°EXPO拡張マップ 万博と共に注目すべき関西の活動群 2021年秋

※来場意向は年々、下がってるのに？

# 「万博の円滑な開催に努める」(健康医療部)

## 【万博関連】

- 外国人医療情報整備事業など:約7583万円
- 万博自治体催事関連事業:約6500万円
- 災害医療体制確保事業:約773万円
- 感染情報解析センター設置:684万円

わくわくEXPO  
食育推進大会  
約6200万円

毎年開催 2024年度は大阪府が採択された



万博の機運醸成



みんなで盛り上げよう!  
大阪・関西万博

2025年4月25日(木)~10月13日(日)  
大阪 夢洲(夢洲)

# 府民のいのちは守れるの？（健康医療部）

## 【国民健康保険は統一化】

- 激変緩和前（2017年）と比較して保険料が150%も上がる例も
- 市町村独自の減免制度廃止
- 保険料抑制の名目で市町村から被保険者1人当たり681円の拠出金徴収

43市町村全  
てで値上げ  
の危険

## 【保健所】

- 設備改修や移転に伴うものみ：約2億円
- 職員増や保健所増の施策ほぼなし



コロナの  
教訓は!?

# 府民のいのちは守れるの？（健康医療部）

## 【病床削減は継続】

- 病床機能再編支援事業：14億円
- 病床機能分化・連携推進基盤整備：12.5億円
- 『拡充』と銘打ち、病床削減に伴う改修費用への補助

## 【第8次大阪府医療計画では】

- コロナ感染拡大以降、入院医療需要は減少」
- 特例措置をもって増床することは将来的に供給過多となる
- 国の特例措置活用せず基準病床数の見直しを毎年検討する

### 【国の特例措置】

都道府県は病床の増加が必要と考えられる場合等において、厚労省大臣と協議の上、合意の数を加えて基準病床数とできる

# 府民のいのちは守れるの？（健康医療部）

## 【感染症予防計画】

- 協定医療機関に発熱外来（20.9億円）、病床確保（3.3億円）設置補助（いずれも国庫1/2）
  - 発熱外来：PCR検査装置・簡易ベッド・空気清浄機等整備
  - 病床確保：可動式パーテーション・簡易陰圧装置等整備
- 「直ちに稼働できるように」準備するが、稼働後の病床確保等補助金等は国の感染症指定の判断待ち

## 【電子処方箋普及促進：3.6億円（国庫2/3）】

- 国の電子処方箋推進の一貫として新規予算で計上

# 日本共産党の提案(医療編)

---

- 国民健康保険の府内統一料金化は中止する  
市町村が、国保料や減免制度の設定、法定外繰り入れや基金活用などを独自に行うことを認め、周知徹底する
- 急性期病床をはじめとする病床の削減、回復期病床への転換は中止する
- 府内すべての保健所に、保健師を始めとする  
専門職員や事務職員を大幅に増員するなど

(他 19 項目)





# 「万博来場で将来に夢と希望を」(福祉部)

## 【万博関連事業】

- こども招待事業(4・5歳、府外学校への通学者)
- 対象:14万人
- 予算:約5.5億円(入場料1億5600万円、委託料3.9億円)
- (※小中高校は教育庁予算:14.1億円)



# セフティネットは守れるの？（福祉部）

- こども医療費助成：約23.5億円
- ひとり親家庭医療費助成：約31億円
- 重度障害者医療助成：約102億円
- 老人医療費助成復活なし

セフティネット確保？  
福祉医療助成全体は  
—約3.8億円

新子育て交付金  
昨年と変化なし：約29.9億円

安心こども基金：約34億円  
(—6.5億円)

介護・障害の処遇改善支援  
補助金：約15.3億円  
※4, 5月分のみ。2023年  
は1人9000円が今年度は  
6000円に(全額国庫負担)

# 日本共産党の提案(福祉編)

---

- 乳幼児医療費助成制度の助成対象を18歳まで拡大し、窓口負担を無料にする
- 介護・障がい・保育職場での処遇改善制度を府創設する。
- 障がい者施設への運営補助制度を創設する
- 生活保護世帯、低所得世帯等に対しエアコンの購入・修理費用の補助を行う
- 合理的配慮を行う市町村による補助額の半分を負担するなど

(他49項目)



# 「競争力」を万博で推進(商工労働部)

---

- 【万博関連予算】
- 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造:約3.9億円
- ライフサイエンスのポテンシャルを世界に発信:約3.6億円
- カーボンニュートラル最先端技術開発:約8.4億円
- **グローバルスタートアップEXPO2025:約1.5億円**
- 2025万博受注機会確保支援:約1億円
- 万博関連イベントをスタートアップのチャンスに
- 2024年度は研究開発スタートアップに重点化:約1.5億円
- **「健都万博」開催の企画案:約1000万円**
- ものづくり中小企業の強みを生かした機運醸成:1340万円

# 「競争力」を万博で推進（商工労働部）

## 【ものづくり中小企業を『万博協力企業』に】

① コンシェルジュによるマッチング  
「商談機会獲得ビジネスチャンスに」

② 万博会場外での「優れた技術を披露」  
展示：約4700万円

③ 万博会場で実施予定「大阪ウィーク」  
での製品展示：約2900万

ものづくり支援として日常的に行うもの  
では？



# 人材確保に力点というけれど(商工労働部)

- 中小企業取引新興事業は約1億円増で、産業局に交付金化
  - 小規模事業対策、運輸事業対策、経営円滑化支援など、現場から求められている予算は昨年とほぼ同額
  - テイクオフ支援:約4.8億円
- ※R5度約600者採択にもかかわらず、対象は300者
- ものづくり販路開拓:2513万円(昨年同額)

## スキルアップ支援

運輸・建設業関連の資格  
取得への受講費用補助

## 外国人材受け入れ

外国人留学生マッチング  
海外人材アプローチ  
(6カ国の海外拠点活用)

## 業務効率化

事業改善・新事業展開  
に取り組む企業を支援

# もっともっと商売を支えて！（商工労働部）

- 商店街振興関連予算：**昨年と同額**
- ※モデル事業：2881万円、魅力向上支援：4329万円
- **奨学金返還支援は「若者・大阪企業未来応援事業」  
として継続!!**
- ※対象 2000社；イニシャルコストへの支援  
大阪府育英会30万＋日本学生支援機構20万  
上限50万円1回のみ



## 2023年度1000社登録

従業員5人以下の企業登録が  
一番多かった

## 登録企業の内訳

- ①医療・介護など福祉職場
- ②司法書士・行政書士
- ③建設・運輸・小売り

# 日本共産党の提案（商工労働・環境農林水産）

---

- 非正規労働者の賃上げに伴う社会保険料・労働保険料の増加分に対応する助成制度を府の責任で創設する【最重点項目】
- 物価高騰のもとで影響を受けている非正規雇用労働者への、一定期間継続した「くらし支援緊急給付金」制度を創設
- 中小企業への、光熱費・家賃などの固定費増加分に対する補助制度を設ける
- ものづくり中小企業関連予算を大幅に増額する
- 商店街振興予算の大幅な増額を図るなど（他16項目）





# 教育まで万博の機運醸成のため!?(教育)

## 【万博関連予算】

- 児童生徒招待事業:約1.1億円(債務負担今年度分)  
事業総額:14.1億円
- 万博実業系高等学校魅力発信事業:約1300万円  
※バーチャル大阪を活用し小中高校生対象に機運醸成
- STEAM教育推進事業:約430万円  
※最先端の探求活動に**取り組み成果を万博イベントで発表**
- SDGsジュニアプロジェクト推進事業:約120万円  
※**いのち輝く未来社会へのデザイン**をテーマに万博やSDGs  
探求し**イベントで発表**



# こどもたちの未来は・・・(教育庁)

---

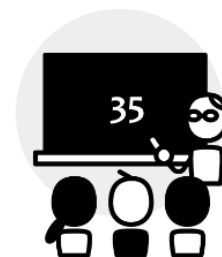
- チャレンジテスト:約3.7億円
- すくすくウオッチ:約3.3億円
- 大阪グローバル人材育成:約4.9億円(新規)
- 府立高校老朽化対策:約5.6億円(前年比一約4.4億円)
- ※ICT活用のための整備事業が新規・拡充の中心に
- 府立学校条例改正:西野田、城東、布施、生野工科高校削除
- GIGAスクール構想加速化基金制定
- 教員定数は小・中・高とも定数減
- 入試選抜の見直し検討

穴あきはどう解決するつもりなんだろう？



# こどもたちの未来は・・・(教育庁)

- 35人学級：府独自施策なし(国が小5まで)
- 小中学校給食費への補助制度創設なし  
府立学校給食費は2024年度無償化



〈東京〉 都が学校給食費の1/2補助実施 (2024年度より)  
予算：239億円 対象児童・生徒：約83.3万人

## 【支援学校 新校設置！】

- 出来島支援学校開校
- 北部(豊中7中跡地)、三島(わかば高校に生野支援併設)  
大阪市(茨田の跡地)、北河内(四条畷分校を本校化)
- 中・南河内は引き続き検討

# 日本共産党の提案(教育)

---

- 小中学校給食費無償化を行う市町村への財政支援を行う
- 全公立小中学校で35人学級編成に直ちに踏み出す
- 小中学校の義務教育標準に見合う正規教諭を採用し、定数内講師の正規化を進める
- 機械的な府立高校廃止をやめる
- 入学金を無償へ、大阪府として補助制度を設ける
- 大阪公立大学の授業料等支援制度における学生や保護者の居住要件は廃止するなど (他23項目)



# まちづくりも万博中心



- 「万博時の交通手段確保」とライドシェア導入推進 (都市整備部)  
事業費: 3900万円 (2024年4月の事業開始を目指す)
- 海上交通社会実験の実施 (港湾局)  
※事業費: 約520万円 万博を契機に会場交通ネットワーク構築
- 万博にむけ府公式WEBサイトリニューアル: 約1.9億円
- 関空新飛行経路導入: 万博までに拡張目指す: 約2400万円
- OSAKA女性活躍推進事業: 約2900万円 (府民文化部)
- 万博を契機に「ヒト・モノ・カネ」を集める (都市計画局)  
※ランドデザインの街づくり、うめきた、新大阪駅前、鉄道周辺  
まちづくりなど、大型開発はさらに推進
- 「基礎自治機能強化」と市町村合併推進 (政策企画部)  
※「合併を選択肢にいれる団体」に1000万円の補助金

河南・太子  
・千早赤阪

# 日本共産党の提案(まちづくり)

---

- 夢洲で開催する「大阪・関西万博2025」を中止する
- カジノを中核とするIRの誘致を中止する
- 夢洲を、一般・産業廃棄物や建設残土などの最終処分場として、万全を期しつつ維持・整備する
- なにわ筋線・なにわ筋連絡線の建設、夢洲への鉄道延伸、阪神高速道路淀川左岸線延伸部の建設は中止する
- 大阪都市計画局のあり方を抜本的に見直し、全市町村との連携を強め、府内全域の環境・防災・安全の向上に資するまちづくりを進めるなど（他5項目）



# 府政の主人公は府民です！

---

こどもからシニア世代まで  
みんなが笑顔の大阪府へ！  
みなさんと一緒に頑張ります

大阪府議会議員 石川たえ

2024年2月

